

令和6年度 江戸川区立松江第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

| | | | |
|-------------|--|----------------------------|---|
| 学校教育目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・すすんで学ぶ生徒 ・心の豊かな生徒 ・健康でたくましい生徒 | 目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像 | <学校像>”生徒第一義の学校”・生徒一人一人の可能性を信じ、生徒の成長を第一とする学校・生徒自身の人生の基盤をつくることのできる学校・生徒が夢をもち、生徒の輝く笑顔がいつも見られる学校・生徒・保護者・地域から信頼される学校 <生徒像>・自分以外の多様な人を受け入れ、優しく温かい生徒・思いやりの気持ちと豊かな心を持ち、ルールを守る生徒・意欲的に学力向上に努力する生徒・積極的に体力向上に努力する生徒 <教師像>・生徒の成長を第一とし、常に専門職としての資質・能力の向上に努める教職員・「師弟同行」を胸に刻み、胸を張って生徒指導に取り組める教職員・組織の一員として職責を十分理解し、互いに学び合い、高め合える教職員・前例踏襲にとらわれず、生徒第一義の教育活動を実践できる創造力豊かな教職員・生徒・保護者・地域の方・教職員に対しても優しく温かい対応ができる教職員 |
| 前年度までの本校の現状 | 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育を基盤とした魅力ある教育活動の実践（SDGs、ユニバーサルデザイン） ・コロナ禍明け、通常の学校行事の完全実施 ・授業改善の継続、放課後補習教室や自主学習教室等による基礎学力の定着 | 課題 | <課題>・家庭学習習慣の未定着者による基礎学力定着への一層丁寧な対応・不登校及び不登校傾向生徒、特別支援を要する生徒への個に応じた指導や支援の充実・本校入学を選択する生徒数の増加（昨年度の転入生約15人は安心して本校に通学している） |

| 重点 | 取組項目 | 具体的な取組内容 | 数値目標 | 達成度 | | 「中間」自己（学校）評価（A～D） | | 「中間」学校関係者評価（A～D） | | 「年度末」自己（学校）評価（A～D） | | 「年度末」学校関係者評価（A～D） | | 次年度に向けた改善案 |
|----------------------|---|--|--|-----|----|--|---|--|---|--------------------|------|-------------------|------|------------|
| | | | | 9月 | 2月 | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | |
| 学力の向上 | <学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善・・・目標の提示、学習活動の明確化（グループ活動の工夫）、振り返りの定着、ICT・タブレットの効果的活用 ・補習教室の機会拡充、適切な課題提示、学習状況の把握と評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の数値を上回る（昨年度、都平均より国語-7 数学-5 英語+2） ・生徒・保護者アンケートの「学習指導・授業工夫」の項目、高評価80%以上（昨年度76%） | B | | C | <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果は都平均より国語-7 数学-4、国語は変化ないが、数学は1ポイント改善した。 ・「学習指導・授業工夫」高評価は生徒97%・保護者85% ・補習教室の参加率は上昇 ・引き続き授業改善を継続していく | B | <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会 保護者アンケート PTA運営委等より ・学力向上に努めてほしい ・生徒が分かる、楽しく学ぶ授業を目指してほしい | | | | | |
| | <読書の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊行事・校外学習の事前事後学習で、探究学習成果物の完成・レベルアップ。 ・全校生徒へも呼びかけ、自主的な探究活動の増加。 ・よむよむワークシートの有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・全生徒の読書料の探究活動成果物、完成 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の上位作品入賞（昨年度はなし） ・生徒アンケートの「情報収集・発表力向上」の高評価85%以上（昨年度83%） ・学校公開等での作品展示の保護者高評価92%以上（昨年度90%） | B | | B | <ul style="list-style-type: none"> ・「情報収集・発表力向上」高評価は3年生96% ・読書料・探究活動の成果物は制作中、文化祭。公開等で発表 ・各学年タブレットを使ったプレゼン発表は成果大 ・よむよむワークシートは好評 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭・学校公開での生徒作品を楽しみにしている | | | | | |
| 体力の向上 | <運動意欲や基礎体力の向上> | <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣改善の呼びかけと生活リズム・自己管理の定着 ・保健体育授業時の補強運動の継続 ・オリパラ教育や掲示物により、スポーツに親しむ心の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・感冒・感染による学校・学年閉鎖なしの継続（昨年度学級閉鎖1回） ・体力テスト評価、区平均・都平均を上回る ・生徒・保護者アンケートの「生活習慣・体力向上」の項目高評価80%以上（昨年度75%） | A | | A | <ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣・体力向上」高評価は生徒88%・保護者76% ・保健体育の意欲的な取組は3年生94% ・運動会も全体演技、団体種目等で参加意欲向上 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・運動会はたいへん良かった、今後もこの形を続けてほしい ・スマホ・ゲーム時間が多い ・地域の運動会にも参加してほしい | | | | | |
| 教育の推進 共生社会の実現に向けた | <特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副都立交流、交流及び共同学習の実施・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援委員会で特性理解をベースに、具体的な支援策の共有 ・関係諸機関との緊密な連携（特にヤングケアラー、ネグレクト系） ・生徒、保護者のニーズに合わせた活用促進（オンライン授業、個別学習等） | <ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する生徒が、安心して通常の学校生活を送る（行動観察） ・生徒・保護者アンケートの「学校生活充実」の項目高評価90%以上（昨年度89%） ・生徒、保護者のアンケートの「不登校、特別支援への指導」の項目高評価80%以上（昨年度62%） | A | | A | <ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活充実」高評価は生徒93%・保護者90% ・「不登校、特別支援への指導」高評価は生徒91%・保護者76% ・支援委員会で適切な対応策を共有、今後も発展継続 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー、ネグレクト等心配なことがあれば、民生児童委員に連絡してほしい ・一児相関関係諸機関とも連携して対応している 最悪の状態は絶対に防ぐ | | | | | |
| 不登校・いじめ対応の充実 | <子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校生徒への対策の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・欠席増加（連続3日を目安）による初期対応と適切な支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒の減少（目標10以下、昨年度15） | B | | B | <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒は16人だが、個々に適切に対応中 ・SC SSW 関係諸機関とも円滑に連携 今後もより良い形を探る | B | <ul style="list-style-type: none"> ・適切に対応しているので、安心してほしい | | | | | |
| | ・教育相談の強化 ・Hyper-QUの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別面談、SC面談等の情報共有 ・HyperQUの分析による要支援・不満足群への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ案件を限りなくゼロに近づける ・HyperQUの要支援・不満足群の改善（第2回QUでの数減少、昨年度は全クラスとも改善） ・保護者アンケートの「いじめ指導、問題行動解決」の項目高評価80%以上（昨年度68%） | A | | A | <ul style="list-style-type: none"> ・重大事態につながる件はなし ・「いじめ指導、問題行動解決」高評価は生徒91%・保護者78% ・QUの結果を学年・担任が分析し対応中 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の様子を見ると、落ち着いている ・SNSのトラブル等ははやくに処してもらい、良かった | | | | | |
| 学校（園）開かれた地域の実現 | <自校（園）の取組の積極的な発信> ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日更新をめざし、適切な情報公開の実施 ・土曜授業・学校公開の年5回実施 ・保護者会等の欠席者への適切な情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの「情報発信」の項目高評価95%以上（昨年度95%） ・学校公開時の保護者アンケート、高評価90%以上（昨年度85%） | A | | A | <ul style="list-style-type: none"> ・「情報発信」高評価は保護者90% ・通知文等をtetoru発信に切り替え高評価 ・9月学校説明会に150人以上出席 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・HPがリニューアルし、見やすくなった ・今後も生徒の活躍をHPで伝えてほしい | | | | | |
| | <学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの生徒・保護者アンケートの実施 ・PTA役員会、学校評議員会による意見聴取 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者アンケートの「教育活動全般」の項目高評価90%以上（昨年度75%） ・本校への肯定的な意見、9割以上（昨年度、批判的な意見はほぼなし） | A | | A | <ul style="list-style-type: none"> ・「教員との信頼関係」高評価は生徒97%・保護者83% ・PTA 評議員会で肯定的な声が多い | A | <ul style="list-style-type: none"> ・公開での保護者意見はほぼ高評価である ・評議員会時の授業見学でも、生徒の様子は良かった | | | | | |
| 教育の展開 特色ある | <令和3・4年度 人権尊重教育推進校の成果を継続発展> | <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の考えを基盤にした、差別や偏見のない環境づくり（校内環境整備、講演会、道徳授業等） | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者アンケートの「教育活動全般」の項目高評価90%以上（昨年度生徒88% 保護者75%） | B | | B | <ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活充実」「教員との信頼関係」高評価は生徒・保護者の全平均91% | A | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も人権尊重の精神にもとづいて、教育活動を進めてほしい | | | | | |
| | <教員研修のさらなる工夫と実施> | <ul style="list-style-type: none"> ・OJTグループと研修グループを融合し、教員同士の力量の向上 ・個別テーマの研修の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の面接、校内研修で成果を報告、高評価8割以上、持続可能な研修への更なる助言 | B | | B | <ul style="list-style-type: none"> ・全教員を4つのグループに分けOJTを逐次実施、若手教員からの好意見多数 ・各教員自身のテーマで研修進捗中 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・今後、研修の成果を共有し、学校全体の指導力アップにつなげてほしい | | | | | |
| <働き方改革の一層の推進> | <ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日の告知・呼びかけ ・部活動時間の改変（年間通じ18時最終下校）→生徒生活リズムの安定 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間外80h越え産業医面談を年間を通じてゼロに（昨年度のべ5人） ・ストレスチェックの数値をより一層低く（昨年度区内上位） | B | | B | <ul style="list-style-type: none"> ・80h以上は月3人以下、今後も減少させる ・ストレスチェックは区内5位だが、様々な支援の働きがい◎の結果 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の仕事はハードなので、管理職が意識して、心身のリフレッシュをはかしてほしい | | | | | | |